

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成30年度		担当課室	大学振興課大学改革推進室		大学振興課長 里見 朋香		
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	第二期教育振興基本計画(平成25年4月25日中教審答申)				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	大学等が有する様々な資源を活用して、地域が直面している様々な課題解決に取り組む全学的な教育研究活動を支援することにより、大学等の教育研究機能の向上に資するとともに、地域の再生・活性化につなげることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	大学等(短大・高専を含む)が、自治体と連携し、地域の課題を直視して解決にあたる全学的な取組(地域人材の育成・雇用機会の創出、地域活性化・地域支援の取組、産学連携・地場産業の振興など)を支援(定額補助:100/100)することにより、様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能を強化。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	2,283	6,127	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	2,283	6,127	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (29年度)
	地域課題解決のための教育プログラムの増加							25~28年度ま での最高値以上
			達成度	%				
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込 み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施件数			件		( )	( )	( 50 )
単位当たり コスト	45,000(千円/件)		算出根拠	単位当たりのコスト =25年度予算額(2,250,000千円)/新規選定予定件数(50件) ※審査等経費、事務費は除く				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	大学改革推進等補助金	2,250百万円	6,100百万円	H25年度採択事業の平年度化(7ヶ月から1年分)に伴う予算の増額。				
	審査等経費	23百万円	23百万円					
	大学改革推進等補助金事務費	10百万円	4百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」3,850百万円				
	計	2,283百万円	6,127百万					

事業所管部局による点検				
	項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、第二期教育振興基本計画において、地域社会の中核となる高等教育機関(COC構想)の推進が掲げられており、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することは、国が実施すべき優先度が高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国公私立大学を通じた競争的環境の下、地域再生・活性化の核となる大学の形成を推進するため、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、より効果的な事業となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	<p>・第二期教育振興基本計画(平成25年4月25日中教審答申)において、「高等教育機関が有する様々な資源を活用して、地域が直面している様々な課題解決に取り組む」ことの重要性が示されており、この方針に沿って事業を実施している。</p> <p>・本事業は、自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することとしており、教育研究機能の向上に資するとともに、地域の活性化につながることを期待される。</p>			
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-				
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年	-	平成23年	-	平成24年 新25-0018

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
2,283百万円

・諸謝金 4.3百万円  
・職員旅費 0.8百万円  
・委員等旅費 2.4百万円  
・庁費 2.6百万円

を含む

〔大学等が地域の課題を直視して解決にあたる取組において、国公立大学を通じた競争的環境のもとで重点支援。〕

【公募・補助】

A. 大学等(全50件)

〔大学の地域貢献に対する意識を高め、その教育研究機能の強化を図る全学的な取組を実施。〕

【補助】

B. 独立行政法人  
23百万円

〔事業の審査・評価等を実施。〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.大学等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
大学改革推進等補助金	大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援するための経費	2,250			
計		2,250	計		0
B.独立行政法人			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
審査等経費	審査に必要な人件費、委員手当、旅費等	23			
計		23	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0